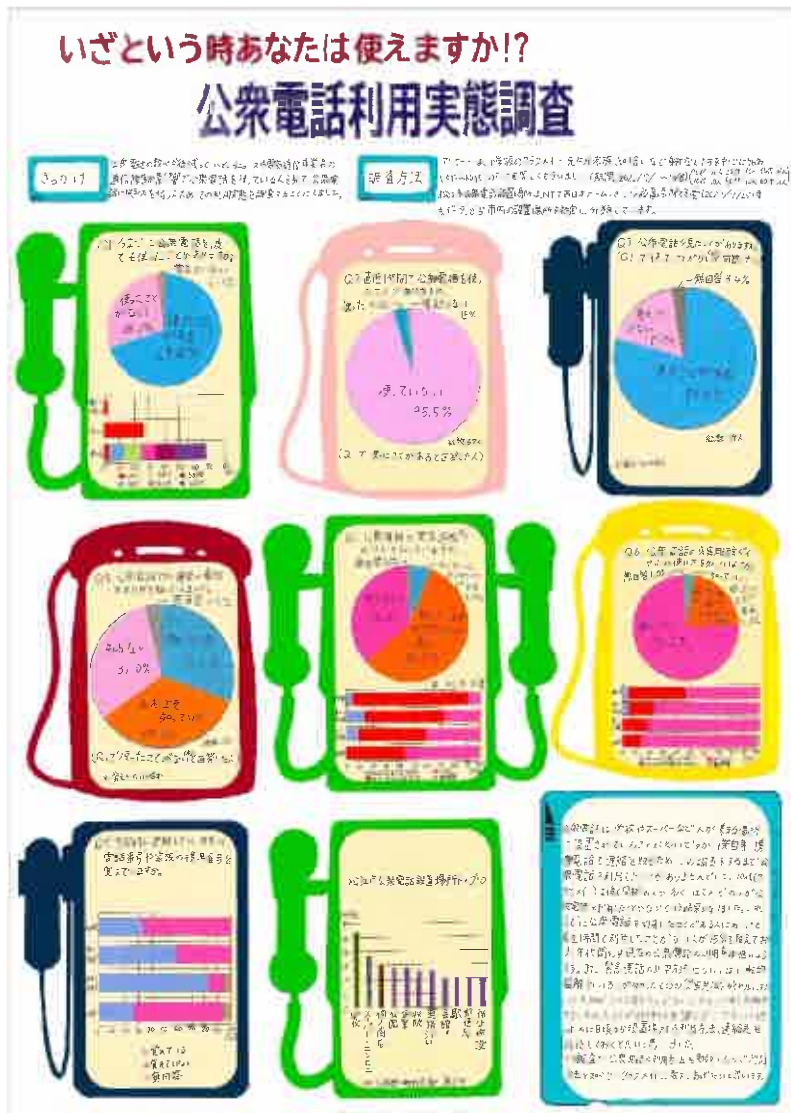


「1日のはじまり おはよう! あさごはん」

松江市立栄道小学校 4年 永原 夢乃

朝あさごはんをテーマに、実際に学校で100人以上にアンケート調査を行った作品です。  
鮮やかな円グラフを用いて調査結果をわかりやすく伝えていて、全体としてもとてもきれいにまとめられています。

学年別グラフからの新たな発見や、「みんなでたべたい」という作者の思いが伝わってくる作品となっています。



「いざという時あなたは使えますか!? 公衆電話利用実態調査」

松江市立古志原小学校 6年 米田 健

通信障害のニュース等をきっかけに、町中ではあまり見かけなくなった公衆電話をテーマに捉え、幅広い年代の方に実際にアンケート調査を行った作品です。

全体割合を円グラフで表し、年代別割合を帯グラフで表すなどグラフを的確に使って調査結果を分析し、自分なりの考えをまとめている点が素晴らしいです。

また、電話機を枠として配置するなどデザインにも人目を引く工夫がされた作品です。



## 島根県民の運動の実態

島根大学教育学部附属義務教育学校  
中川 樹 長尾 朋那  
紙在り ver. 松本 洸 高田 陽翔

2030年に、島根県で国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会が開催される。そこで、島根県民が普段どのくらい運動しているか調べたいと思ったから。

### 全国と島根を比べてみた!

	体力テスト	心疾患、肥満、糖尿病有病率(10万人あたり)	運動部などの加入状況				
全国			<table border="1"> <tr> <td>運動部</td> <td>57.0%</td> </tr> <tr> <td>部外</td> <td>43.0%</td> </tr> </table>	運動部	57.0%	部外	43.0%
運動部	57.0%						
部外	43.0%						
島根			<table border="1"> <tr> <td>運動部</td> <td>57.5%</td> </tr> <tr> <td>部外</td> <td>42.5%</td> </tr> </table>	運動部	57.5%	部外	42.5%
運動部	57.5%						
部外	42.5%						

全国の体力テストは、島根は良いところが多いです。また、全国平均より平均年齢が低いため、体力テストの結果が良い傾向があります。  
 心疾患、肥満、糖尿病は、島根は全国的に低い傾向があります。数値の低い傾向は、健康意識の高さや生活習慣の改善によるものと考えられます。  
 運動部は全国と比べて、島根の割合はほぼ同じです。しかし、部外に加入している人は、全国的に比べて多い傾向があります。これは、学校の体育授業や部外活動の充実によるものと考えられます。

### 島根県の中学生にインタビュー!

#### 運動の頻度は?

頻度	人数
毎日	4
週3回	4
週2回	4
週1回	4
週0回	4

週0回が10人一番多かったが、頻度はバラバラが多かった。

#### 運動は好き?嫌い?

好き	嫌い
21	4

好きの人数が多かった。運動が好きという人は、頻度とは関係なかった。→運動を頻繁に実施している?

今回は島根県民の運動の実態を調査した。インターネットによる調査では、島根県は全国と比べて運動時間が短い可能性があるかと判断した。しかし、実際にインタビューを行うと、運動好きだと思っている人の割合は高いことがわかり、運動しやすい環境を整えることが必要かもしれないと考えた。また、人によって運動する時間が異なることから、より多くの人が運動に対する意識を高めていくことが大切だと考えた。

**参考文献**  
 ・人の心理調査  
 ・全国健康・生活習慣調査報告書  
 ・全国健康・生活習慣調査報告書

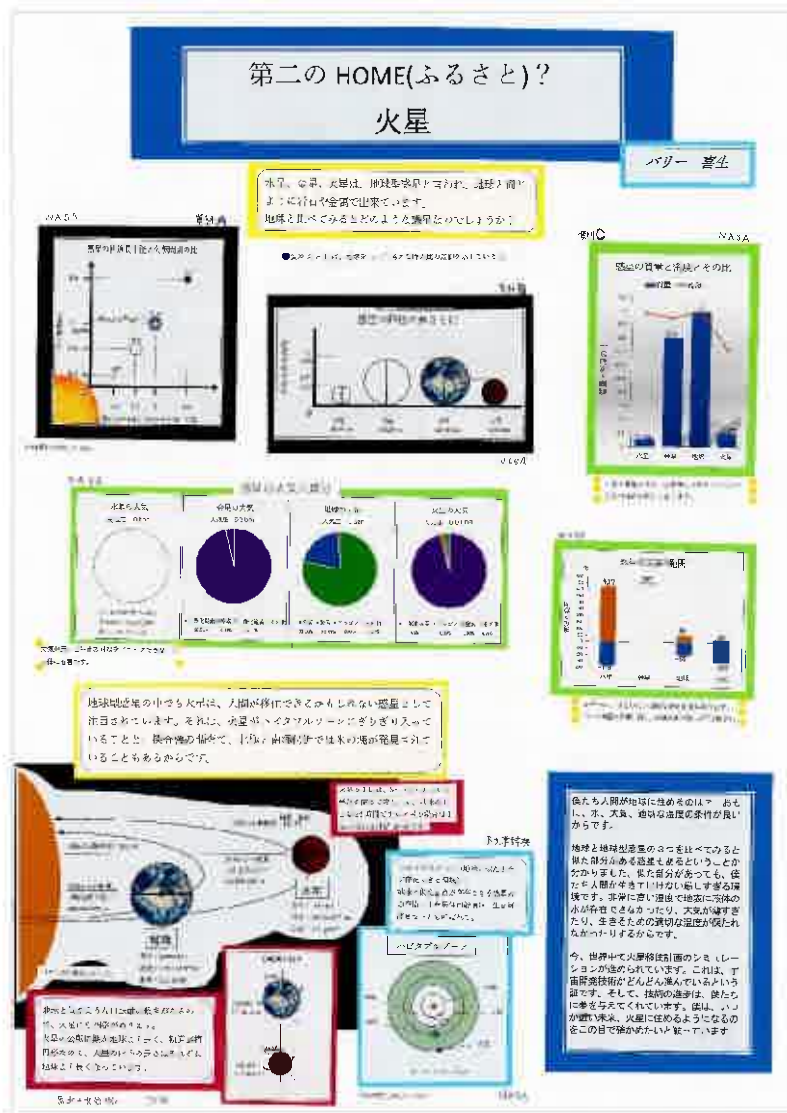
しまねけんみん うんどう じつたい かみ あ  
「島根県民の運動の実態 紙在り ver.」

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 3年 中川 樹、長尾 朋那  
松本 洸、高田 陽翔

しまねけんみん うんどう じつたい たいりよく けっか けんこうじょうたい ぶかつどうじょうきょう さまざま してん  
島根県民の運動の実態を、体力テスト結果、健康状態、部活動状況など様々な観点から調べ、運動習慣の大切さを表現した作品です。

しまねけん じつたい くに ぜんこく ひかく おこな してん しりょう だけ  
島根県の実態に加えて全国との比較を行っている点や、インターネットからの資料だけでなく、実際にインタビューを行い統計の検証を行っている点が素晴らしいです。

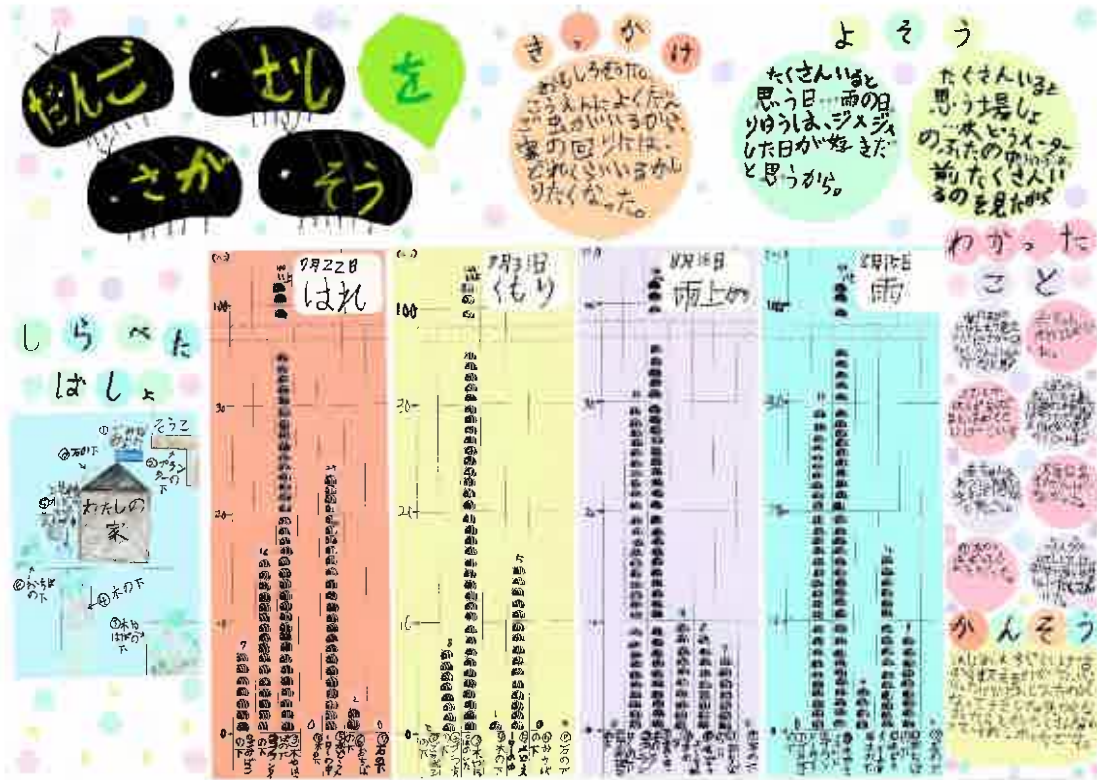
レイアウトや色合いもバランスのとれた見やすい作品となっています。



だいに かせい  
**「第二のHOME(ふるさと)?火星」**  
 松江市立第二中学校 2年 バリー 喜生

かせい いじゅう おも は ざんしん きょうみぶか さくひん  
 火星への移住に思いを馳せた斬新で興味深いテーマの作品です。  
 ちきゅう ほか わくせい ひかく えん ぼう ず てまかくもち おお しりょう じぶん  
 地球と他の惑星を比較し、円グラフ、棒グラフ、函を的確に用いて、多くの資料から自分  
 の考えがまとめられています。  
 ちきゅう ず つか いうづか うつく さくひん  
 地球の図を使うなど、グラフの色使いも美しい作品となっています。  
 しら べようと おもったきっかけにも 触れられているとなお良いでしょう。

たい ⑤ とくせん  
 ○第1部 特選



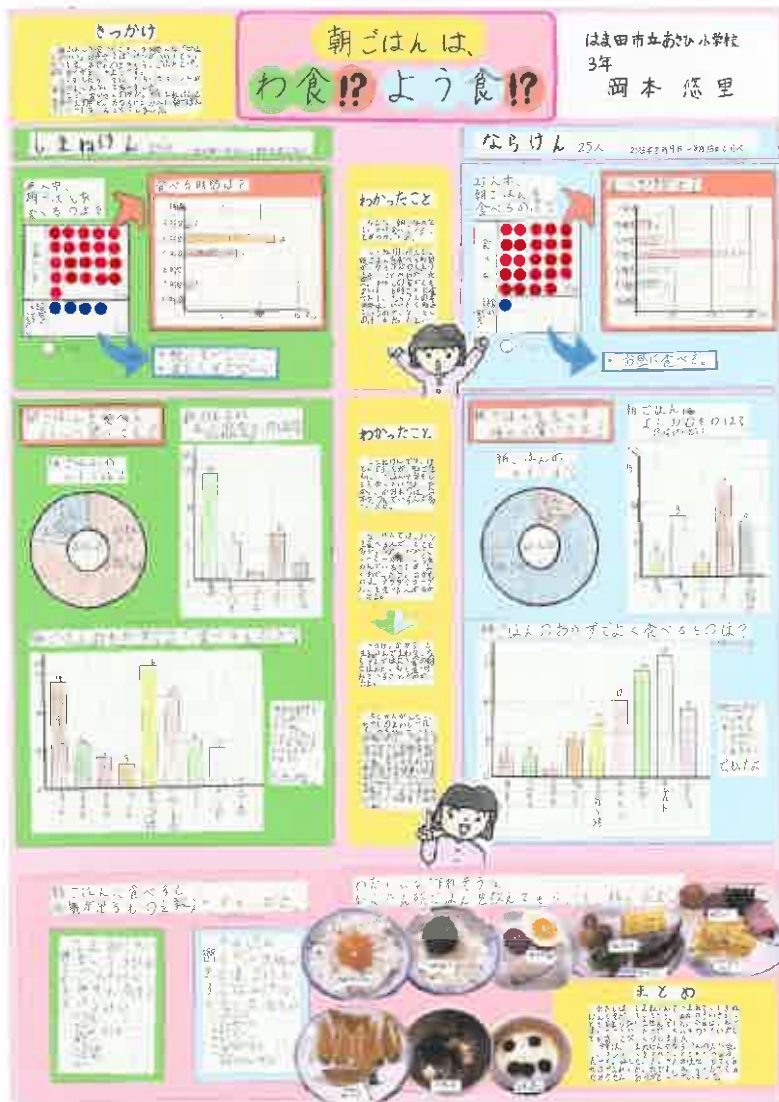
「だんごむしをさがそう」

松江市立城北小学校 2年 神田 華

公園でたくさん見かけるだんごむしが、家の周りにどれくらいいるのかという素朴な疑問から、興味を持って予想・調査をしたユニークなテーマとなっています。

天気と場所の両面から調査することでデータに深みを持たせ、だんごむしを模したシールを作ってグラフにしており、丁寧で緻密な素晴らしい作品です。

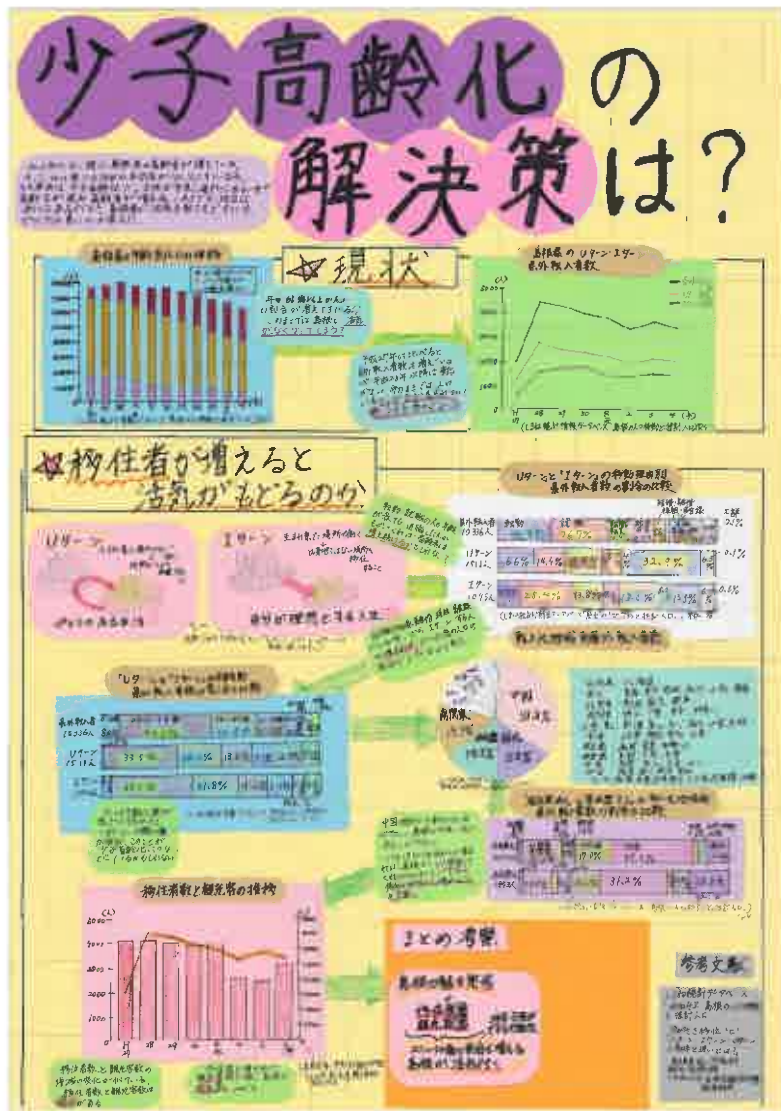




「朝ごはんは、わ食!?よう食!?!」

浜田市立旭小学校 3年 岡本 悠里

両親の朝食の好みから、出身地による朝食の違いを調べる着眼点が素晴らしいです。また、テーマを絞ることにより、多彩な朝食の内容がわかりやすくまとめられています。目を惹きつけるタイトルと、実際にアンケート調査を行い、馬根県と奈良県のデータをわかりやすく並べています。さらに、写真を使用することにより表現を工夫した作品となっています。



「少子高齢化の解決策は？」

松江市立法吉小学校 6年 青山 和

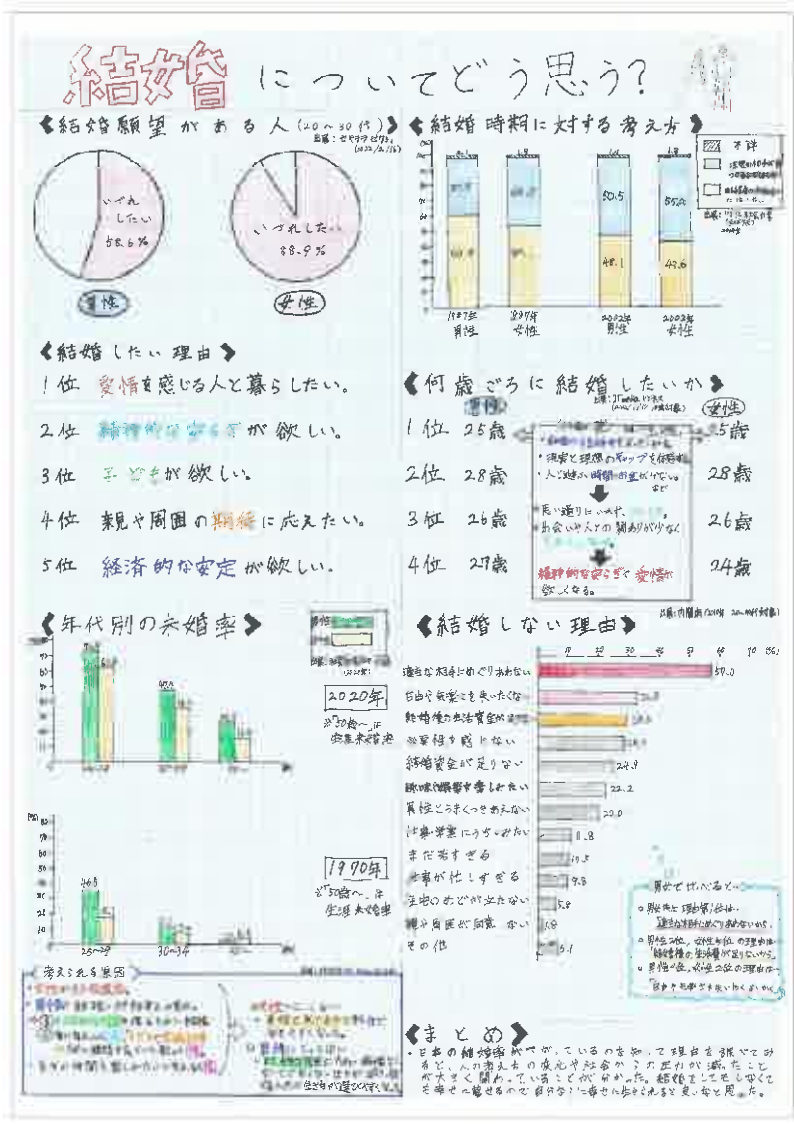
島根県の課題でもある高齢化の解決策として、Uターン・Iターンの視点からだけでなく、転入者、観光客を含めて考察しようとした点が素晴らしいです。

日々の学習を活かし、情報データベースを使って多様なグラフの組み合わせを駆使している点、一つのデータの考察から次の調査テーマを決めて調べるなど全体としてストーリーのある調査がわかりやすくまとめられています。

情報量の多さと分析力からの結論の導き方、レイアウトの仕方も優れた作品となっています。







「結婚についてどう思う？」

島根県立横田高等学校 2年 水内 美紘

結婚しない若者が増えている中、高校生が身近な課題としてテーマ設定した点が素晴らしいです。

インターネットなどの資料を引用してどう考察されているのかを審査のポイントとし、様々な出典をもとにわかりやすくまとめられていました。

高度な表現の仕方、高校生らしい作品となっています。

身近なデータを加えながら地域の課題に迫り、分析していくようなアプローチがあると、なお良いでしょう。

## 日本ってそこまで女性差別国? ジェンダーギャップ ワースト22位ってホント?

2015年 SDGsが掲げられ、2030年までに達成することが目標となっている。目標までの年数は半分を切った。17つの項目の中の1つには、「5 ジェンダー平等」が掲げられている。  
世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数で、日本の男女平等ランキング(2023)は146か国中125位である。日本は本当に男女不平等なのか? どんなことが課題なのだろうか?  
日本のジェンダーギャップの現状を改めて知り、ジェンダーギャップ解消のために何が必要か考えた。

1に近づけばほど男女格差が少ない

経済

政治

健康

教育

色の濃い国ほど、ジェンダーギャップ指数が高い(男女格差が少ない)

<世界経済フォーラム2023年ジェンダーギャップ指数>

**日本の特徴**

- ・教育と健康はほぼギャップがない
- ・経済 賃金格差(会社員正規雇用に多く生産戸収は男性の3/4程度)管理職が少ない(世界平均27.1% vs 日本14.7%) (ジェンダーステレオタイプによる進路選択の制約も)
- ・政治 女性の政治への参加が少ない  
女性の総理大臣はゼロ  
女性の大臣や国会議員数 10%未満 (野田内閣内閣における女性議員の全国平均11.8%)

<G7各国のジェンダーギャップ指数の推移>

日本は16年間ほぼ横ばい

日本	2006年	0.645	→	2023年	0.647(-0.002)
フランス	2006年	0.552	→	2023年	0.795(+0.243)
ドイツ	2006年	0.752	→	2023年	0.815(+0.063)

日本は男女格差解消が遅れている

2006年 → 2023年

①「男らしさ」や「女らしさ」の固定観念を無くす  
→ 差別的な発言や行動を防ぐ

②性の在り方について、学校教育に取り入れる  
→ 多様化する性の在り方についての正しい知識を持たせる

③女性の地位向上・活躍を促進する  
→ より多くの人に女性支援の制度を周知し使ってもらう

● ジェンダーギャップ指数の課題 ●  
ジェンダーギャップ指数は、各国における男女の数の均等や出席を構成指標とし、特定の領域や領域において、男性と女性間の代表性や参加度が均等であることと目指した指標である。  
・男女のどちらも好まない状態である場合だけでなく、男女のどちらも差別的な状態である場合も、両者の参加が少なければ指数は良い値となる。例えば、男女ともに参加率が低ければ、男女ともに参加を促していなかったりする場合も「ギャップは少ない」と評価される。  
・文化やスポーツに関する指標は入っていない。  
その国の男女間の相対評価であって絶対評価ではないため、上位であれば生活環境等が必ずしも良いとは言えず、特定の要素を高く評価しているという批判がある。14項目の構成指標や、その重み付けの妥当性も検討する必要がある。

にほん じよせいきべつこく  
「日本ってそこまで女性差別国？」

い  
ジェンダーギャップワースト22位ってホント？」

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 3年 岩本 実久

ちやくかんてん めんく さくひん  
着眼点、ビジュアルともに文句なしの作品です。

いま ちようさ けつろん もとめ  
今ならではのテーマについて調査されており、サンプルデータ数、見やすさ、結論の求め方が素晴らしいです。

め ひく くふう いろ づかひ すぐ  
目を引く工夫として色、フォント使いが優れており、加えて、データをレーダーチャート、

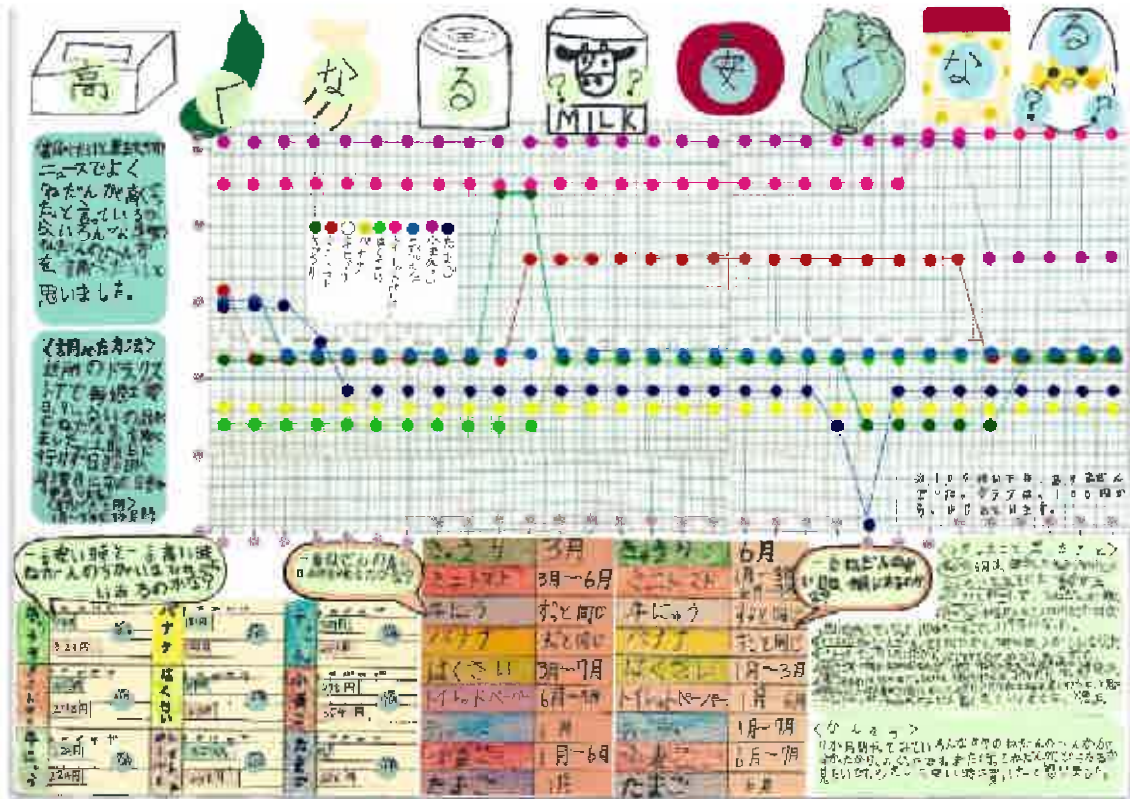


折れ線<sup>おせん</sup>グラフ、地図<sup>ちず</sup>グラフなどでわかりやすく表現<sup>ひょうげん</sup>され、パソコンの機能<sup>きののう</sup>を駆使<sup>くし</sup>していま  
す。

考察<sup>こうさつ</sup>したことについて、さらに継続<sup>けいぞく</sup>的に調査<sup>ちゆうさ</sup>されることを期待<sup>きたい</sup>したい作品です。



〇第2部 特選



「高くなる??安くなる??」

松江市立城北小学校 3年 神田 桃

ニュースでも話題となっている物価について買い物についていく楽しみのなかで小学生の視点で切り込んでいく発想がすばらしいです。

長期間に渡って定期的にデータを取得しており、価格の推移が一目で分かる作品となっています。





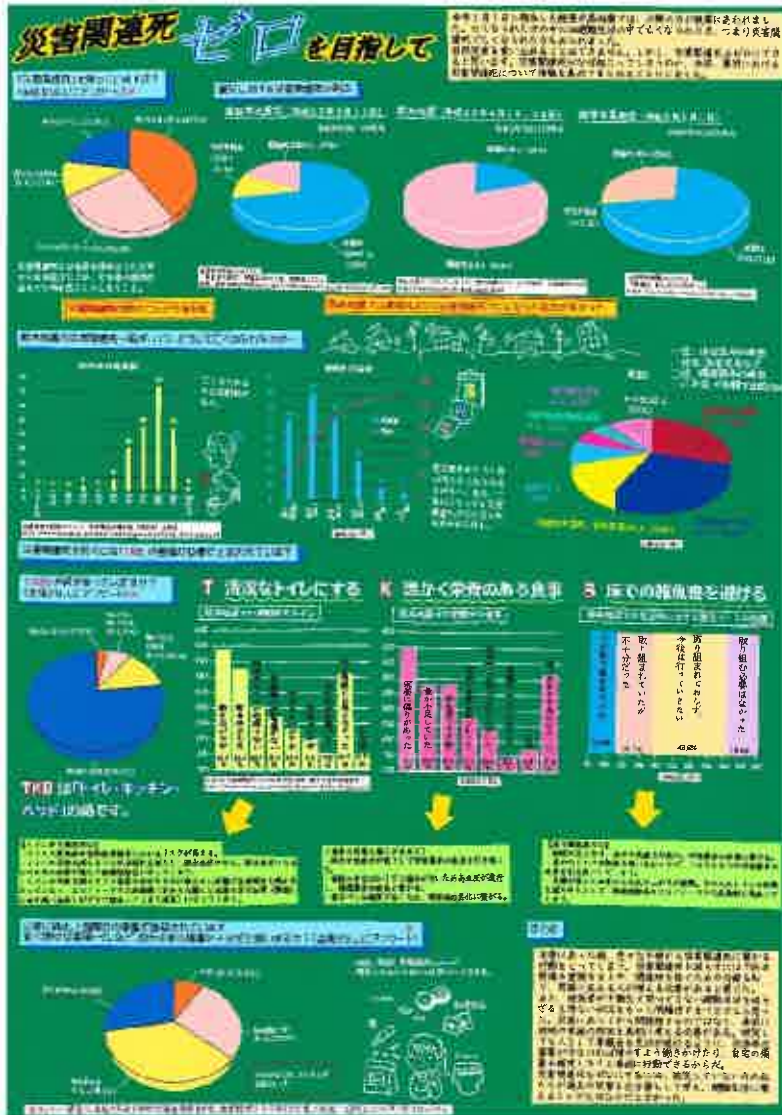
「宍道湖から夕日を見ている人はどのくらいいるの？」

松江市立乃木小学校 5年 村山 冬華

テーマが地域性に富んでおり、郷土愛が感じられます。地元の良いところを数値によって確かめ、グラフで表すことで客観的に捉え、これからの松江に思いを寄せている作品です。

現地に足を運び、データを取っている姿勢が素晴らしいです。

作品全体の見た目も美しく、心に入ってきやすい好印象の作品です。



「災害関連死ゼロを目指して」

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 3年 片岡 睦深

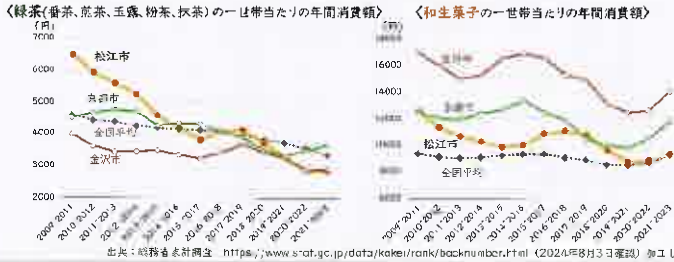
緻密な紙面の構成でビジュアル的にも素晴らしいです。

グラフの意味をよく理解していて、見る人に内容が分かりやすく伝わる作品となっています。

災害発生時に注意すべきことが啓発されていて、これからの暮らしに生きる作品です。

## 松江の中学生に茶の湯文化は浸透しているか？

島根県松江市は、京都市・金沢市に並び日本三大菓子処です。松江藩主であった松平不昧公が、作法にこだわらずにお茶を楽しむ茶の湯文化を広め、今でも日常生活に茶の湯文化が根付いていると言われています。松江市内には老舗の和菓子屋、お茶屋が沢山あり、スナックでも緑茶のコーナーが広く、抹茶ヒーリングに茶せんも売っています。しかし、最近ではコートや紅茶や色々なものを飲むようになり、「和菓子離れ」「抹茶離れ」が進んでいるそうです。そこで、現在の松江の中学生にごまて茶の湯文化が浸透しているかを調べるため、アンケートを行いました。



全国的に緑茶の消費額は減少傾向となっている。日本三大菓子処の3都市の中で、松江市は、特に消費の低下のスピードが速い。県庁所在地や政令指定都市の52都市中、2009~2011年は緑茶の消費額は6位だったが、2021~2023年は全国平均を下回り、36位だった。また、和菓子の消費額は2009~2011年の5位から2021~2023年に28位と全国平均並みになっている。

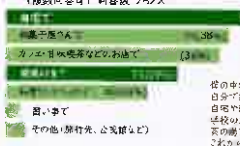
### 松江の中学生は茶の湯に親しんでいるだろうか？

アンケートの概要(松江市の茶の湯文化アンケート)  
 対象者：島根大学教育学部附属義務教育学校7年~7年生 310人  
 (実数395人・回収率87.3%)  
 方法：Google Forms (紙本) 時期：2024年7月16日~7月27日

#### Q 茶の湯文化に興味がありますか？

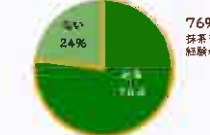


#### Q 抹茶を飲む人は、どこで飲みますか？

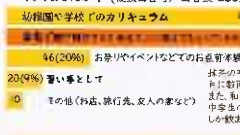


図の中程で、50%以上が茶の湯文化に興味を持って、自分で抹茶をたてたことがある人が76.6%と非常に多かった。自宅や親戚の家でも近所の人から教えてもらっていたり、学校で抹茶をたてて飲む機会が多かったりする。茶の湯文化の継承は、これからは中学生の世代に引き継いでいく必要がある。

#### Q 自分で抹茶をたてた経験がありますか？



#### Q 抹茶を自分でたてた経験がある人は、どのような時にたてましたか？(複数回答可) 回答数 235人

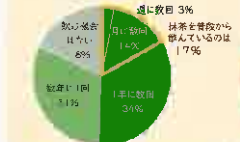


抹茶の体験は、74.9%の人が「おいしい」と喜んでいるが、中には「少し苦い」と感じる人もいた。また、抹茶を自分でたてた経験がある人は、76.6%と非常に多かった。中学生の世代では、抹茶離れが進んでいるが、このアンケートの結果からは、抹茶の文化は、まだまだ根付いていることがわかった。

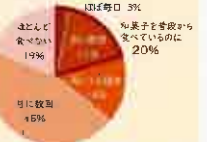
#### Q 抹茶の味をどう思いますか？



#### Q 抹茶を飲む頻度はどのくらいですか？



#### Q 和菓子を食べる頻度はどのくらいですか？



## 「松江の中学生に茶の湯文化は浸透しているか？」

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 1年 岩本 暖之

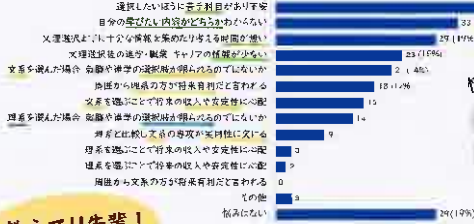
松江らしいテーマで一つ一つのグラフが綺麗に描けている作品です。ICTを活用し周りの友達から生のデータを収集している点も素晴らしいです。質問の内容等によりグラフを使い分け、見た目・色使い共に工夫されています。



## どうする？文理選択 自分の“好き”を見つけよう！

高校生の進路選択において、最初の関門は「文理選択」である。一般的に「男子は理系、女子は文系が向いている」といったイメージをもたれるが、固定観念にとらわれない、なりたい自分に近づける進路を選びたい。高1生は何に悩んでいるのか？そして、先輩方はどのように進路選択されたのか、何が影響したかを参考にしたいと思い、高校でアンケートを実施した。 ※グラフが縦向きなのは質問にすべて日本人を指す

〈高1生〉具体的に文理選択を考える際に、どのような悩みがありますか？ (複数回答可)



情報不足  
将来の選択肢  
高1生の悩み  
時間が無い  
将来の収入  
苦手科目  
周囲の期待とのズレ

教えて!!先輩!

〈高2・高3生 (文理選択後)〉

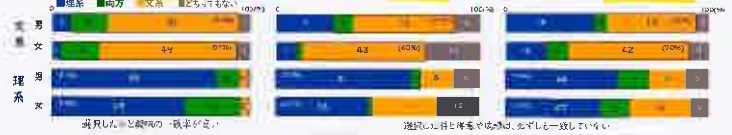
文理選択に関するアンケート 概要

対象者と回答数：島根県立松江北高等学校  
1年生 153名 (男72名 女81名) 回収率43%  
2・3年生 214名 (79名 129名) 38%  
期間：2024年7月7日～7月13日  
方法：Google Forms (匿名) によるWebアンケート



一般的に理系選択は女性より多く、男子が理系、女子が文系。◆全体的に一選と比較し、二選も多い傾向

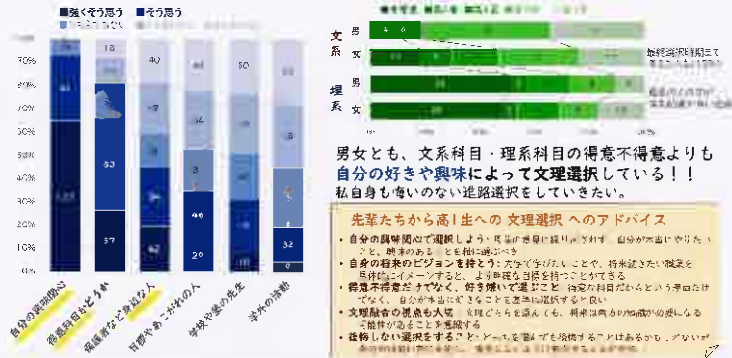
Q.文系科目と理系科目のどちらに興味がありますか？ Q.文系科目と理系科目のどちらが得意ですか？ Q.文系科目と理系科目のどちらの成績が良いですか？



興味は、二と二の「両方がある」

選択の科目と得意や成績は、必ずしも一致していない

Q.進路選択に何が影響を及ぼしましたか？ (5段階) Q.文理選択をめぐって決められたのはいつでしたか？ (高1時に最終選択)



男女とも、文系科目・理系科目の得意不得意よりも自分の好きや興味によって文理選択している!! 私自身も悔いのない進路選択をしていきたい。

先輩たちから高1生への文理選択へのアドバイス  
 ・自分の興味関心で選択しよう。得意が得意に感じられる。自分が得意な科目や得意な科目、得意な科目を得意に感じられる。得意な科目を得意に感じられる。  
 ・自身の将来のビジョンを持つこと。将来やりたい職業や将来のビジョンを持つこと。将来やりたい職業や将来のビジョンを持つこと。  
 ・得意不得意だけでなく、得意不得意なこと。得意不得意なこと。得意不得意なこと。  
 ・文理融合の視点も大切。文理融合の視点も大切。文理融合の視点も大切。  
 ・後悔しない選択をする。後悔しない選択をする。後悔しない選択をする。

## 「どうする？文理選択 自分の“好き”を見つけよう！」

島根県立松江北高等学校 1年 岩本 実久

高校生らしいテーマで、他の学年にもアプローチしている点が素晴らしいです。  
 自分の将来を統計的に整理し、後輩へのアドバイスに繋げている点も評価できます。  
 未来をどう描くかという統計の良さを存分に生かした素晴らしい作品となっています。